

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030090

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○事業期間 平成14年度～平成28年度 ○総事業費 7,085,805千円
基本施策	3 水産業の振興	事業優先度	A	
単位施策	2 経営基盤の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武地区(雄武漁港)水産流通基盤整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成28年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北海道	関係課	#N/A	
事業指標	工事進捗率		#N/A	
事業目標	100%	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

132	全体計画 事業内容	平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容
計	雄武漁港の外郭・水域・係留・輸送施設、用地埋立及び漁港衛生管理施設の整備 ○事業費 286,599千円 ・起債 129,000千円 ・漁組分担金 57,317千円 ・一般財源 100,282千円 道の総事業費 2,071,991千円 ※旧事業名 雄武地区特定漁港漁場整備事業(漁港整備)	○雄武漁港 <平成24年度繰越分> -3.5m岸壁(新設) L=224m 用地 A=2,100㎡ 清浄海水供給施設 一式 総事業費 926,991千円 地元負担金 124,997千円 <平成25年度分> -3.5m岸壁(新設)(L=89.9m) 道路 一式 用地 A=14,000㎡ 清浄海水供給施設 一式 総事業費 303,000千円 地元負担金 43,334千円	○雄武漁港 東護岸(新設) L=162.6m -3.5m泊地 A=2,370㎡ 道路(新設) L=460m 用地 A=11,240㎡ 清浄海水供給施設 一式 総事業費 442,000千円	○雄武漁港 -3.5m岸壁(改良) 110.0m -3.5m岸壁(新設) 98.4m 道路(新設) L=288.5m 道路(改良) L=134.0m 総事業費 136,000千円	○雄武漁港 船揚場(改良) L=50.0m -3.5m岸壁(改良) 110.0m 道路(改良) L=326.0m 用地 A=23,480㎡ 総事業費 264,000千円	
計画事業費	事業費(千円)	286,599	168,331	62,234	18,834	37,200
実績事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0	0			
	道支出金	0	0			
	地方債	129,000	34,600	49,700	15,000	29,700
	その他	57,317	33,665	12,446	3,766	7,440
一般財源	100,282	100,066	88	68	60	
実績事業費	事業費(千円)	286,808	168,039	60,711	17,900	40,158
関連事項	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	129,500	34,600	48,500	14,300	32,100
	その他	57,360	33,607	12,142	3,580	8,031
一般財源	99,948	99,832	69	20	27	
特定財源の名称	特定財源の名称	(実施内容等) 起債 34,600千円 漁協負担 33,607千円 総事業費 1,237,783千円	(実施内容等) 起債 48,500千円 漁協負担 12,142千円 総事業費 436,974千円	(実施内容等) 起債 14,300千円 漁協負担 3,580千円 総事業費 129,000千円	(実施内容等) 起債 32,100千円 漁協負担 8,031千円 総事業費 286,772千円	(実施内容等)
過疎債(ハード) 漁協負担金	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	100%	100%	100%	100%	
	年度達成率	100%	98%	95%	108%	#DIV/0!
第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	59%	80%	86%	100%	100%
	備考欄					

事業名	雄武地区(雄武漁港)水産流通基盤整備事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	工事進捗率
【抱える課題やニーズは】	漁港の早期完成による漁港機能の高度化及び漁業活動の安全性・生産性の向上を要する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設整備により漁港機能が高まり、漁業活動の安全性の向上が図られ、生産性の高い環境を創造する。	① 工事進捗率	目標年度 目標値 実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	衛生管理の強化など漁港機能が高まり、新鮮で安心・安全な水産物の生産と漁業活動の安全性・生産性の向上を図る。		達成度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	漁港整備に係る地元負担金の支出	北海道が実施する雄武漁港整備事業に対する地元負担金の支出	
		②	目標年度 目標値 実績値 達成度
			平成28年度 100 % 100 % 100.0 %
			平成27年度 #DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	雄武漁港は本町の流通・生産拠点として重要な役割を担っており、漁港機能の高度化、衛生管理の強化、生産労働の効率化及び安全な漁業活動の確立が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	衛生管理型漁港及び関連施設の整備促進により、漁港機能の高度化が進められた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	地元負担割合が定められており、コスト削減ができないが、早期の補修要望を行うことにより、総事業費の低減が図られている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	水産基盤整備事業に係る地元負担金については、条例に基づき受益者負担金(負担額の20%)を徴収している。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設整備により、衛生管理の強化などの漁港機能が高まり、漁業活動においても安全性、生産性の向上が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
本事業により、流通漁港の拠点である雄武漁港の整備が計画どおり完了したことから、終了とする。なお、今後も漁業者のニーズを取りまとめ、機能向上のための要望を把握する必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止